



【 山陰インバウンドニュース 11月号 】

令和 4 年 1 月 22 日

(一社) 山陰インバウンド機構

旅館ホテル事業 三朝町・米子市でコンシェルジュ機能強化研修会を実施

当機構では、旅館・ホテルと周辺地域の魅力ある観光資源を組み合わせた滞在型観光商品の造成・販売の支援を行い、同時に、宿泊施設スタッフを中心とした地域のコンシェルジュ機能強化を図る事業を実施しています。この度、その事業の一環として三朝町と米子市で研修会を実施しました。

【三朝町】ラヂムリエ（三朝温泉入浴アドバイザー）を対象に11/14に研修会を実施し、10名が参加しました。4院（三佛寺・皆成院・正善院・輪光院）の協力を得て、周辺コースを住職等が直接案内するプランの体制作りとラヂムリエの知識習得・コンシェルジュ機能強化を目的としたもので、当日は正善院 鈴置住職が中心となりガイドを行いました（サポート：輪光院 米田副住職）。当日はあいにくの小雨でしたが、大きなトラブルもなく実施できました。参加者からは「地元でも知らないことがたくさんあった。今後自分が案内をする際に、今日研修で教わった話を参考したい」、「インバウンド向けは、相手の知識に合わせ、バランスを考慮した案内が必要。相手に合わせた案内をしていきたい」という声が聞かれました。



また、鈴置住職は「時間の都合ですべてを伝えきれず、案内の難しさを実感した。また、今回実際にやってみることで“気づき”をたくさんいただいた。今後改良を重ね、ご案内やおもてなしの質をあげていきたい」と感想を述べられました。

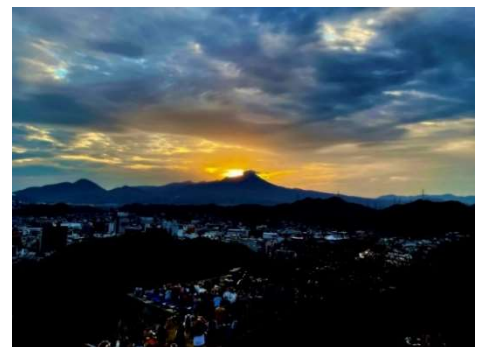
【米子市】11/17にANAクラウンプラザホテル米子にて、米子市内の宿泊施設スタッフを対象に、市内周遊商品の造成を目的とする研修会を行いました。参加者には講師より、他エリアの事例紹介のほか、米子市内の魅力あるコンテンツを組み合わせ提供することで、滞在消費額が上がる可能性についてお話ししました。また、宿泊事業者のみではなく、観光事業者と連携することが重要、かつ、持続性を担保できる取組となることを伝えました。その後、今あるコンテンツ（米子城武者隊や和文化体験等）を活かす方法などについて、ディスカッションが積極的に行われました。この研修会にて、今後は米子市ホテル旅館組合を中心に、地域の事業者が丸となってコンテンツの造成・販売に努めていくことが確認されました。

観光庁訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金活用事業「旅館ホテルと連携した新たな販売ネットワーク構築及びインバウンド対応強化事業」

米子城跡「ダイヤモンド大山」観望会に参加しました

10/22(土)米子市主催の米子城跡「ダイヤモンド大山」観望会に参加しました。当日は早朝（5:30集合）にも関わらず、非常に多くの方が集まっていました。当機構が参加した22日はあいにく雲がかかってしまいましたが、翌日は気象条件もよく、完璧な「ダイヤモンド大山」を見ることができたとのこと。この景色は1年に2回程度、気象条件が整わないと遭遇することができない希少な絶景として、話題を呼んでいます。

次回は2/20頃と言われています。普段見ることができない美しい絶景「ダイヤモンド大山」を、ぜひ米子城跡にてご覧ください。



各種出展状況紹介

■ Discover Another Japan PASS (DAJP) 販売キャンペーン実施

▶ 島根：10/22～23 SHIBUYA CAST GARDEN「神在月 出雲 観光物産展 in 渋谷」

首都圏の若年層をターゲットに、出雲へのイメージアップと観光誘客につなげるため、渋谷キャストにて出雲市の物産、食、観光等の魅力を発信するイベントが開催され、当機構もPRブースを設けました。当日は2日間ともに、天候に恵まれ、また、渋谷駅近くの好立地条件もあり、多くのお客様にご来場いただきました。ステージではお笑い芸人「ネルソンズ」や島根県観光キャラクター「しまねっこ」も会場を盛り上げました。

当機構は首都圏在住外国人をターゲットにDAJPのキャンペーンを実施しました。ブースにはアメリカやオーストラリア、中国等、2日間で全12か国の方にお立ち寄りいただき、日本人と外国人のペアも多く、その際には言葉の壁も少ないため、山陰の情報をしっかり伝えることができました。また、山陰自体を知らない方には地図を活用し、まず両県の場合、行き方を伝えた上で、山陰の魅力をPRしました。イベントは大変盛況であり、来年も継続実施される場合は、当機構も引き続き参加し、山陰のPRに努めていきたいと思っています。



日時：10/22（土）～23（日）11：00～17：00（23のみ15時まで）

場所：渋谷キャスト（東京都渋谷区渋谷1-23-21）

内容：物産・食のPR（出雲ぜんざい、出雲そば、日本酒等）、
出雲の観光PRコーナー（お笑い芸人「ネルソンズ」によるPR、
島根県観光キャラクター、「しまねっこ」によるPR）、
在住外国人向け「DAJP」PRコーナー（Pass無料or半額抽選会等）



■ ITF 台北国際旅展参加

2019年の訪日客数約489万人とコロナ前のインバウンド市場で大きなシェアを占めていた台湾。その台湾最大の国際旅行博である「ITF 台北国際旅展」に当機構もブース出展しました。30回目を迎える2022年は、11/4～7の4日間、南港展覽館（台湾台北市）で開催されました。「B to C」が基本の旅行博で、当日は旅行会社による商品販売や各国の観光関係団体、自治体等による観光PRブースが設けられました（日本ゾーンには56団体が出展）。今回の旅行博は、10/11水際対策規制緩和後以降、台湾で開催された初の大型旅行博覧会ということもあり、入場者数は19万人を超えました（4日間、昨年比172%）。

当機構のブースにも多くのお客様が立ち寄られ、山陰の観光スポットと共に、DAJPをご紹介しました。パンフレットを次々と手に取られ、「来年に家族で日本を旅行する予定。山陰のおすすめ観光地や温泉を教えてください」「コロナ前にチャーターで鳥取県を訪問したことがあるので寄ってみたい。また、鳥取を訪問したい」、「大阪から山陰までどのくらい時間がかかるのか」など、熱心に質問される方も多くいらっしゃいました。日本渡航への興味、関心は非常に高く、旅行のため参考となる情報をできるだけ多く入手したいという熱量にスタッフも圧倒されました。今回の出展を通じて得られた台湾の方の旅へのニーズを、今後の様々な事業への参考としていきたいと考えています。



セミナー「水際対策緩和後の最新動向と JNTO と地域との連携について」実施

11/16 (水) 13:30~14:50 くにびきメッセ (松江市内) にて、山陰インバウンドセミナーを開催しました。今回、現地開催にも関わらず約 50 名の参加者にお集まりいただきました。当日は、日本政府観光局 (JNTO) 地域連携部長の佐々木 隆博さまにご登壇いただき、海外市場の訪日旅行の動向や世界の需要の変化について、JNTO の取組事例や他地域の取組をご紹介いただきながら、今後の観光の動きをお話いただきました。

質疑応答の時間になると、「2025 年の大阪万博に向けた動きはどうか」という質問や「活発化するインバウンド市場に向け、地域と連携したさらなる情報発信を今後もお願いしたい」等の意見が出ました。講師は一つ一つに丁寧に回答され、「今後も地域と共に、全国のインバウンド事業について底上げをしていきたい」とお話をされました。

セミナー後のアンケート調査では、「日本の現状について非常にわかりやすい資料、内容であった」「今までわからなかった JNTO の取組を直接聞き、事業の内容がよくわかった。いろいろと連携できるのではと思います、今後より連携を強めていきたい」「サステナブルについて、『できることを始めるだけでなく、「伝える」ことが大事である』という言葉が印象に残った。有意義な時間であった」と好評の声をいただきました。また、当機構への要望として「こういった場は本当に貴重。ぜひ今後もセミナーを続けてほしい」「山陰にも様々な組織があり、それぞれ役割をもっているが、もっと連携できるのではと感じる。地域・行政への情報共有を密に、ぜひ機構には山陰のインバウンド観光の牽引を期待したい。」というご意見をいただきました。今後も当機構はいろいろな分野の講師を招致し、また地域の情報を共有しながら、インバウンド事業の底上げをしていきたいと考えています。引き続き、多くみなさまのご参加をお待ちしています。

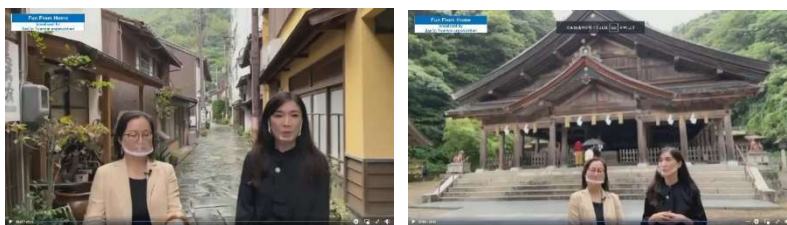


JNTO 主催の Fun From Home で美保関・隠岐が紹介されました

当機構では、Fun From Home (オンラインライブ) に参加し Facebook ライブで 10/7(金)に松江市美保関の青石畳通りの周辺を歩きながら、美保神社の神事や周辺の宿泊施設等を紹介しました。ライブ配信後は、アーカイブにて視聴できるようになっており、1週間で 44,329 人も多くの人にご覧いただきました。

この JNTO の取組には島根県国際観光推進室も参加しており、10/19 (水) に隠岐ユネスコ世界ジオパークの宿泊拠点“Entô”より、隠岐自然館や摩天崖からの絶景ツアー、七味作り体験等、隠岐地域の魅力あるコンテンツが紹介されました。隠岐の雄大な景色は視聴者の反響も大きく、コメントでも「どうやって行くのか」「何日間の滞在がベストか」などの具体的な質問が多く寄せられたようです。島根県は今後もテーマ別のライブ配信を引き続き企画し、島根県の魅力を国内外に広く発信していきたいとのことです。

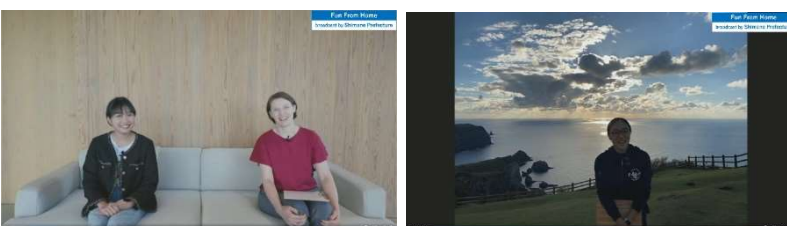
当機構も引き続き両県と協力し、山陰を盛り上げる情報発信に努めたいと思います。



松江市美保関地域の様子

【Facebook アーカイブ】 ※いつでも視聴可能

美保関地域 (@Discover Another Japan San'in)
<https://www.facebook.com/Japansanin/videos/651494049829155>



隠岐地域の様子

隠岐地域 (@Discover.Shimane)
<https://fb.watch/gRhhH7qiU7/>

第9回日韓フォトコンテスト「山陰賞」決定と授賞式の開催について

当機構共催の「第9回日韓フォトコンテスト」に、約1,600名（日本及び韓国）、約5,500点の作品の応募があり、11/1（火）の結果発表において「山陰賞」が発表されました（各賞の受賞作品は計30点）。

本年度は3年ぶりに韓国現地で授賞式が行なわれます。当機構としては、フォトコンテストをきっかけに、韓国の方々が「山陰」へ興味・関心を持ち、現地にお越し頂ければと願っています。

なお、山陰賞受賞者へは『DAJP（7日間）チケット』と『鳥取・島根の日本酒、工芸品等を詰め込んだ山陰ギフトパッケージ』を授賞式にてプレゼントする予定です。



【今後のスケジュール】

授賞式：12/3 在大韓民国日本国大使館 公報文化院

受賞作品展：

<ソウル> 11/30～12/8 在大韓民国日本国大使館公報文化院

<済州> 12/10～12/19 トヨタ・レクサス済州展示場

タイトル：3年ぶりの夏
受賞者：AHN Dongkyung

URL <http://jkphotocon.org>

山陰ツーリズム人材育成塾 知識習得講座をYouTube Liveで限定公開

鳥根大学と連携し、実施する観光中核人材育成事業『山陰ツーリズム人材育成塾』では、知識習得講座を公開し、限定配信しています。講座は「観光の取組」「求められる人材」「日本、山陰の現状とこれから」「必要とされる考え方・手法、事例」等、各分野の専門家、実践者に講義いただき、塾生の課題解決に向けて知識習得していくものです。広く公開し、地域でのおもてなし向上や事業のスキルアップを図ることができればと考えていますので、ぜひご参加ください。

【12月の予定】 ※下記、すべて19:00～20:40

12/7 講師：岡山県矢掛町（株）シャンテ 安達代表
「日本初（アジア初）のアルベルゴディフーズの取組より」

12/19 講師：（株）美ら地球 山田代表
「持続可能な「観光」の実践と、そのために山陰に求められる人材や必要な考え方とは」

URL https://www.sanin-tourism.com/news_dmo/information/9682.html



鳥取で交流地域を体験！レストランフェア 開催

鳥取県は環日本海地域（韓国江原道、中国吉林省・河北省 他）と友好関係を結び、観光、文化、スポーツ、青少年などの分野で交流を進めています。この他にもアメリカ、ジャマイカ、ブラジル等とも交流を行っています。皆様に海外との交流を実感していただくため、鳥取県の交流地域等の料理を県内16店舗に特別に作っていただきました。各店舗自慢の料理をぜひこの期間にお楽しみください。なお、特別メニューを注文した方を対象にしたスタンプラリーも行い、各地域に関連した景品を合計70名様にプレゼントします。ぜひご参加ください。

開催期間：11/1（火）～ 各店舗の年末最終営業日まで

開催場所：鳥取県内各地 ※詳しくはホームページをご覧ください。

URL <https://www.pref.tottori.lg.jp/301073.htm>



「美肌県しまね」中国向けコンセプトブック 公開中

インバウンドの再開を見据え、美への関心が高い中国人観光客への誘客促進を目的に、昨年度島根県観光振興課が「美肌県しまね」を PR するコンセプトブックを作成しました。島根の地が美肌を育む気候・環境であることを株式会社ポーラ・オルビスホールディングス調査によるデータを用いて説明しており、「美肌」への関心が高い層向けに、実際に旅するかのようなストーリー仕立てで、美のスポット・体験、グルメ、美肌宿プランを紹介しています。

このコンセプトブックは、デジタルブック (PDF) として、島根県のインバウンド向け公式 WEB サイトに掲載しています。また、中国市場向け SNS での情報発信等、様々なプロモーションに活用しており、島根県の紹介コンテンツとして、事業者の方々にもぜひご活用いただければと思います。情報発信のご協力をよろしくお願いいたします。

URL <https://www.kankou-shimane.com/zh-cn/brochure>



表紙



山陰エリアで実施された中国運輸局検証事業に同行しました (その1)

★ 「先進的技術を活用したユニバーサルツーリズム検証事業」

ICT 等先進的技術をユニバーサルツーリズムに活用し効果的な情報発信ツールの構築やコンテンツ造成を図り、日本のユニバーサルツーリズムをわかりやすく海外に発信し、ポストコロナの誘客につながる事業を中国運輸局が実施しており、事業の一環として、外国人有識者を招聘し、現地を検証するモニターが 10/29~31 の 2 泊 3 日、島根県、鳥取県内 (石見銀山、出雲大社、松江城、境港、足立美術館 等) で実施されました。

今回のモニター参加者は、グリズディル・バリージョシュアさん (カナダ出身、4 歳より車いす生活に。日本観光サイト「アクセシブルジャパン」運営。各地の観光情報をバリアフリーの情報とともに紹介されています。)。島根県への来訪は今回が初めてだったようで、石見銀山や出雲大社など専門家目線だけでなく、観光客目線でもしっかりと見て回られました。

当機構はモニター最終日の足立美術館 (安来市) に同行しました。当日は清々しい青空が広がり、足立美術館の庭園も秋色に染まり始めていて、絵画のように美しい日本庭園をスタッフも一緒に楽しむことができました。

今回のツアーは、石見銀山間歩 (坑道) や松江城天守閣など、一部 VR が取り入れられ、内部を体験できるコンテンツが用意されました。現地に行くことができなくても細部までしっかり映像で見ることができると、ユニバーサルツーリズムに大きく貢献できるシステムです。VR を外国人向けユニバーサルツーリズムの実証に使うことはまだめづらしく、その利点や問題点等をスタッフとともに丁寧に確認されながら、帰路に向かわれました。中国運輸局は、これらの意見を参考に、ユニバーサルツーリズムのコンテンツやツアーの造成に今後繋げていくとのことでした。



▶ 地域の観光事業者を対象とし、ユニバーサルツーリズムをテーマとした講演会が開催されます。

グリズディル・バリージョシュアさんとユニバーサルツーリズムアドバイザー 瀧山 知弘さんが講師として参加されます。ぜひご参加ください。

日時：2022 年 11 月 28 日 (月) 13:00~14:15 形式：オンライン (Zoom) と会場のハイブリッド形式
会場：松江テルサ 4F 中会議室 (島根県松江市朝日町 478-18) (JR 松江駅前)

URL https://www.sanin-tourism.com/news_dmo/information/10025.html

山陰エリアで実施された中国運輸局検証事業に同行しました（その2）

★「AI 翻訳機等を活用した受入環境検証事業」

本事業は、AI 翻訳機の活用の可能性を外国人目線で評価・検証し、今後のインバウンド施策へ繋げる目的で、中国運輸局が実施しており、事業の一環として、山陰でモニターツアーとワークショップが開催されました。11/6～11/8の間、浦富海岸遊覧船（鳥取県岩美町）とご縁しめ縄づくり（島根県出雲市）にスポットを当て、両コンテンツに関する体験及びワークショップが行われました。

当機構は浦富海岸遊覧船に同行しました。首都圏在住外国人の台湾・タイ市場向けインフルエンサーやライター等4名が参加しており、各市場への受入環境の情報発信もミッションとなっていました。当日の天気は透き通った薄い雲の青空に恵まれ、船が少し揺れるものの、絶好の撮影日和となりました。

参加者は初めに検証に使用する AI 翻訳機の操作を教わり、出航後、スタッフが指定する番号をタッチすると説明が流れる機能を利用しました。会話の内容を翻訳できる機能もありますが、今回は文化や伝承など独特の言葉を使うことが多いため、事前に案内文を定型文として登録し、タイ語と繁体字に翻訳をして、音声で再生する機能が使われました。音声は男女両方の声を選べ、音声に合わせて翻訳文が表示されます。参加者は「操作が簡単で、男女とも声が穏やかでスムーズ。聞き取りやすかった。」と話していました。絶景スポットではカメラを置き、しばし景色に浸る参加者の姿もみられました。



浦富海岸遊覧船での体験の様子



ワークショップの様子（当機構はオンラインにて参加）

ワークショップでは、モニターと体験事業者、観光協会や自治体等地域の方が参加し、AI 翻訳機を活用した体験のフィードバックを通して、受入地域での多言語対応の課題等について意見を出し合いました。AI 翻訳機を体験する時間もあり、長文だと適切な翻訳ができない場合や発音によって別の意味になることなどを検証しました。事前登録機能や、普段から短文のやさしい日本語の説明を心がける等、今回の検証で現場でのインバウンド対応の課題と改善方法を学びました（出雲でも同様の検証を実施）。中国運輸局では、この検証事業を通して、ポストコロナにおけるインバウンドの誘客を促進するとともに、今後のインバウンド施策への活用及び他地域への横展開を図りたいとのことです。

その他のお知らせ

★ オンラインセミナー実施（（一財）自治体国際化協会ロンドン事務所）

駐日ノルウェー大使館の富永裕子氏によるオンラインセミナー「ノルウェーの脱炭素に向けた取り組みについて～水素・アンモニア戦略～」が11月30日（水）17:30～18:30（日本時間）に実施されます。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_8QC9hHmUSjKuAkmtPCEU5w

観光関連統計等

山陰への外国人延べ宿泊者数 ※観光庁宿泊旅行統計調査（従業員10人未満の施設を含む）

期間	山陰への外国人宿泊者数（鳥取/島根）	比較
2022年8月	1,450人泊（鳥取360人/島根1,090人）	(2021年8月) 1,690人泊 (2020年8月) 1,400人泊
【参考】日本全体の現状(2022年8月) (速報値)	728,230人泊 ※観光庁宿泊旅行統計調査 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryoutoukei/shukuhakutoukei.html	(2021年8月) 251,260人泊 (2020年8月) 218,980人泊